

(学) 長橋学園 杉田幼稚園の令和元年度 自己評価及び学校関係者評価結果

令和 2 年 2 月 26 日

(学)長橋学園 杉田幼稚園

1、幼稚園(杉田幼稚園)の教育目標

教育基本法及び学校教育法を基本として、幼稚園教育(幼児教育)を推進し、豊かな心を持つ人を育成することを目的とし、次の教育目標を定める。

教育目標：「明るく 元気に 頑張る子」

- ・物を大切にする子
- ・思いやりのある子
- ・お友だちとたくさん遊ぶ子
- ・お話をよく聞くことができる子
- ・思ったことがはっきり言える子
- ・考える力のある子

2、令和元年度の事業計画及び重点目標

事業計画～「緑いっぱい自然の中で輝く学園」として豊かな心が育つ保育の推進

- ① 「有徳の人」づくりに向け、園児一人一人を大切に、生き活きと活動できる場の設定
 - ② 園児達の発達段階に応じた援助に努め、自立の基礎を培うため、園児達のモノづくり体験の推進
 - ③ 思いの伝え合いの場づくりを目指し、自立意識の芽生えを育む活動ができるよう教育課程の工夫
 - ④ 小学校への接続が円滑にできるよう、近隣園や保護者・地域と共感し合い、教育機関等との連携強化
- 以上の事項を重点として、教育内容のさらなる向上に努める。

3、評価項目の達成及び取組状況

< A:十分達成されている B:達成されている C:取り組まれているが、成果が十分でない

D:取り組みが不十分である>

評価項目	自己評価		学校関係者評価	
	結果	内容・理由等	結果	内容・理由等
1、保育内容 (1)保育の 計画性	A	新幼稚園教育要領の進行に合わせて、園の教育理念や方針の許に、園全体・各学年、各クラスの保育計画(指導～週案・日案)を立て、園児一人一人の発達段階に応じた保育に努めている。教育課程では環境構成や表現力の向上に意を注いだ。	A	杉田幼稚園の目標に沿って、教職員が保育を計画的に執行し、日・週案やその反省文を園長・副園長等が毎週初めに目を通し、助言等を行っている旨を、園長の事業報告からも伺い、園全員が一つになっての保育活動を評価する。 また、若手教員が多くなり、自己の活動に追われ、全体を眺めたり、自らが率先して園運営への協力する姿勢の不足が自己評価から伺われる。
(2)保育の あり方・幼 児への対応	B	在園児達の個々の特質などを各教員で共有し、保護者からの的確な情報を得て、毎日の生活を通じ、園児との気持ちをしっかり受け止めるよう声掛けやスキンシップを心掛けている。全学年の園児達の行動や意識の変化を、教職員全体で把握し、園児達を共通理解できるよう相互に情報交換に努めている。		園児達の成長・発達に向けて、教員相互の連絡・連携をさらに前進させ、保護者の信頼を受けて、一人一人が自信を持って、日々の教育活動を実践されることを願います。

2、保育者としての資質・能力	B	<p>本園教員がお互いの立場、役割を把握し合い、対話を大事にしながら、全教員が自己の専門性を高め、保育に自信を持って取り組めるよう、園外との公開保育を基に、各自の研鑽を積み、専門性を高めたい。</p> <p>また、若い教員が多いので、先輩は後輩指導に意を用い、保育活動に努める。</p>	A	<p>教員の年齢層が若くなり、全員が相互に補い合いながら、個々の教員の力量向上に努める姿を向うことができた。</p> <p>さらに、幼児教育無償化の中で教育の質向上が求められており、日々の研鑽を積むと共に、教育課程の充実を目指した研修計画を樹立し、特に、公開保育など他園との交流・実践を通じ、教員全体の質の向上を目指して欲しい。</p>
3、保護者への対応	A	<p>園の教育目標に、保護者や地域との共感し合う教育活動を展開しており、バケツ稲づくり、カレーづくり体験では、園児と保護者の協働作業によって成果を楽しんでいる。保護者面談の日を定めるなど、保護者と教員の連携を深めている。</p> <p>情報交換のお便り帳では、写真や絵柄を挿入する等工夫をして、家庭との共通理解を実践している。</p> <p>また、子育て支援として「たまごちゃん教室」を年14回開設し、未就園児と在園児との交流も進めている。</p>	B	<p>保護者参観は、年4回設定され、親子共同による夏祭りの提灯造りは、ユニークな取り組みで、行事の質を高め、モノづくりによる園児、保護者と教員のコミュニケーション形成は素晴らしい。</p> <p>保護者からの子育てに関する相談（要援助児）等も多くなって、専門的知識も必要となるので、県幼稚園協会の「子育てカウンセラー」との連携を密にされたい。また、地域の子育て支援機関を保護者に啓発し、地域や保護者との体制づくりへの期待が高まっている。</p>
4、地域の自然や社会とのかかわり	C	<p>園・家庭・地域が一体となった教育を進めるため、園行事「すぎのこフェスタ」や「運動会」に区民の参加を啓発し、地域との交流が進んでいる。</p> <p>とりわけ、地域からの要請で、敬老会へ年中児が参加し、地域の方々から熱い応援を頂き、更に年長児は、「茶道教室」を開き、地域の茶道の先生の指導を仰いでいる。</p> <p>教員の自己評価で、教員自身が地域の歴史や神社等に対する知識を深めるとともに、地域の小学校との連携などが、課題（近隣幼稚園との交流会を実施）となっている。</p>	B	<p>園長の事業報告の中で、学園行事への地域の参加を啓発し、年長児の鼓隊が「市消防フェスタ」への出演など、地域との触合いは、園児の人づくりとして社会生活への基盤づくりに役立っている。</p> <p>また、カレーづくり・餅つきを始め、さつま芋やバケツ稲を育てる体験にも地域の協力があり、教員や保護者との協働活動～自然の中で野菜作りや芋掘り、稲作等の体験など、生きた教材を使った学習機会を高く評価する。</p> <p>教員自身が地域の歴史や神社の知識も深めて行く姿勢があるので、今後の実行を期待する。</p>
5、研修と研究	B	<p>年間を通じ、園全体で、研修テーマ（集団活動で変化していくコミュニ</p>	B	<p>公開保育など、他園との交流が実施され、教育者としての資質向上に努めら</p>

	<p>ケーション)を設定し、各種の研修に参加したが、研修を生かした実践活動が欠け、来年度への課題である。</p> <p>今年度の市内10園の公開保育には実施園への参加によって他園の良い所を吸収できた。近隣幼稚園との園児の交流会等の取り組みも適時適切に行うことができた。</p> <p>さらに、小学校との連携や他幼稚園との相互交流研修・公開保育に積極的に挑戦していきたい。</p>	<p>れることを高く評価する。</p> <p>これからは、日常勤務の中でも研修機会を増やし、その成果を教員間で分かち合うなど一層の努力を願いたい。</p> <p>小学校との幼小連携の機会を創るとともに、自己評価に掲出されている他の幼稚園との共同研究・研修など幼幼連携の推進は、今後、是非とも進めて頂きたい事案である。</p>
--	---	--

4、重点目標等に対する総合的な評価結果

結果	内容・理由等
A	<p>年間を通じ、教職員一人一人が、園長や副園長の指導の許で、園全体の保育計画及び月間・週間指導計画の策定に参画すると共に、自己の保育活動に生かす取り組みが日々の園児の生活の中で進めており、評価委員会として高く評価する。</p> <p>学園行事(運動会、すぎの子フェスタ、カレーづくり、茶道教室、高校生との音楽会等)における地域の方々との協働や地域の高校生との音楽会による交流など、富士市と富士宮市の境に位置した当園の立地を最大限に利用した保育活動は、今後も継続されることを切望する。</p> <p>さらに、地元の農業や製紙業などの資源を活かした学習やモノづくりへの参加、さらに富士山の日・おやこんぼの日等を活用する生活体験など、園児の豊かな心を育む上でも効果があった保育活動と思う。そのためには、教員自らが地域(歴史、地形、神社等の教育資源)を学ぶ機会を設定して頂きたい。</p> <p>今後も、園と家庭(保護者)・地域が連絡を密にし、保護者参観日の内容を工夫するなど、よりよい未来の子ども達を育てる環境づくりを期待する。なお、ホームページは、随時見直しを行い、幼稚園を多くの方に理解頂けるよう内容も一層充実されることを切望する。</p>

5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
1、教育計画に基づく地域、保護者と共感し合う教育活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 今年度の自己評価結果を活かせるように年間計画を立て、日々の保育を常に振り返り、見つめ直しながら、新しいよりよい保育活動を進めていく。 杉田幼稚園から地域への情報発信を増やし、特に、学園の主要行事への地域住民の参加を回覧板やHPによって啓発し、保護者や地域等に杉田幼稚園をアピールするとともに、教員自身も地域の歴史、地形、神社を学ぶ。
2、資質向上を目指した研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園教育要領を的確に利用し、要援助児への対応及び地域や保護者との共感し合える新たな課題等をテーマとした教職員の研究活動を充実するとともに、その成果を園内研修で発表するなど、研究・研修体制を強化する。 地域の学校や幼稚園との連携を深め、教職員間の交流や共同研究等を行うとともに

<p>3、学園の防災・危機管理等の徹底</p>	<p>に、教職員のチームワークの良さを、園活動の中で園児達に見せ、伝授していくことで、楽しい園生活を創るよう努める。</p> <p>・「地震等防災対策マニュアル」や「危機管理マニュアル」に沿い、家庭との連携を図り、防災や衛生管理機関等との連絡体制を確立し、的確な避難訓練、情報提供等を実施し、園内遊具の点検・改善整備も行い、防災・危機管理教育さらに、インフルエンザや新型コロナウイルス等の感染症対応など一層充実して行く。</p>
-------------------------	--

6、学校関係評価者

<p>(参加者)</p> <p>・保護者(杉田幼稚園PTA会長) ・地域住民(地区在住) ・学識経験者(地区生涯学習推進会副会長)</p>
